

教科	科目名	単位数	学年	学科またはコース	履修
農業	果樹	4	3	生物生産科	選択

科目のねらい	果樹の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、果樹の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性向上を図る能力と態度を育てる。
--------	---

使用教材など	教科書：果樹（実教出版）
--------	--------------

期	月	時数	学習内容	学習のポイント
一学期	4	45	○リンゴ、オウトウ、ブドウ、ナシ、カキの生育と栽培管理 (春～夏の栽培管理) ・高品質果樹の生産方法 ・具体的栽培管理と技術 ・施設の利用のあり方	果樹の生育、栽培管理についてこの地域の中心品目（リンゴ、ナシ、オウトウ、ブドウ、カキ）を理解する。 特に春から夏にかけての栽培管理について技術の定着を図る。
	5			
	6			
	7			
二学期	8	51	○リンゴ、オウトウ、ブドウ、ナシ、カキの生育と栽培管理 (夏～冬の栽培管理) ・高品質果樹の生産方法 ・具体的栽培管理と技術 ・品種の選定と開園方法	環境条件（気温・日照・降水量・風・土壌・水分・栄養）が果樹の生育にどのように影響するのか、また、その栽培管理を理解する。 特に夏から冬にかけての栽培管理と出荷に関わる技術を理解する。
	9			
	10			
	11			
	12			
三学期	1	9	○リンゴ、オウトウ、ブドウ、ナシ、カキの生育と栽培管理 (冬期間の栽培管理) ・高品質果樹の生産方法 ・具体的栽培管理と技術 ○1年間のまとめ	果実の生産性と着果習性について理解する。 整枝・剪定技術を習得する。

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
趣旨の観点	・果実の生産と経営に関する課題を発見し、解決しようと努力している。	・果樹での学習成果を、主体的に分析、考察、評価してまとめようとしている。	・果実の生産について、関連する技術を積極的に身に付けようとしている。	・果樹の生理・生態的な特性や生産及び生育環境を理解しようとしている。
評価方法	・行動の観察 ・ノートの点検	・プレゼンテーションの作成 ・発表力の評価	・行動の観察 ・ノート及び実習日誌等の点検	・行動の観察 ・ノートの点検

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評価にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

評価項目・学習にあたって・評価点		
①定期テスト	果樹栽培に必要な知識・技術が身につき実践できる	50～60点
②課題提出	ノート、記録、プロジェクト学習のまとめ等	10～20点
③実習・出席状況	意欲的に取り組んでいるか。技術を習得しているか。（実技点での評価も加味）	30点